

筑波大生のための発見マガジン



FREE PAPER



無限に広がる未知を想うと、ワクワクする。

# 宇宙へ行こう

WHY  
DON'T WE  
GO TO THE SPACE  
?

VOLUME  
**17**  
2019春

C4  
culture  
research  
challenge  
collaboration



# 【宇宙】 名

- ① 未知で無限に広くて、探究したくなるもの。
- ② 転じてわくわくすること、好きなこと。

## Introduction

宇宙というものは、我々の根源でありながら、到底解明する「」とはできず、しかし誰しもを虜にするほど謎に包まれています。

宇宙を知りたいというのは本能的な欲求なのでしょうか。これまでに何人もの研究者がこの問いに立ち向かい、今もなお研究し続けています。

まるで永遠と虚無とが表裏一体になつた世界に、自らの存在を模索しているかの「」とく。

そんな壮大なテーマを『ツクマガ』で取り上げるのは、私たち一人ひとりにある「宇宙」に、たくさん発見が秘められていると思うからです。

「宇宙」を知りたいと思うのは、なんと刺激的な原動力でありますようか。

果てない自由を目の前に、限りのない「宇宙」を抱くことが許される私たちは今、とても強い。

私たち学生の「宇宙」には、ほかのどの季節よりも、大きな可能性があると思うのです。

何気なくいつも一緒に大学生活を送る私たちの「宇宙」に、まだ知らぬワクワクが待っている。

偶然この『ツクマガ』と出会ったあなたの、つぶばの日常が、少しでも豊かになることを望んでいます。

さあ、宇宙へ行こう。

## 目次

8 宇宙コミック 飛び出せ！あやうさぎ

11 みんなの宇宙論

あなたの「宇宙」は何ですか？  
人それぞれの輝く「宇宙」を集めました。

21 小説 つくらぶ コインランドリーで出会う筑波大生の恋。

7 20 24 APOLLO GRAPHICS アポロの観察 / 応用 / 飛行

25 つくば SHOP LIST



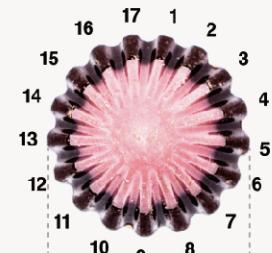
Apollo17 has landed.

## Apollo Graphics ①

### アポロの観察

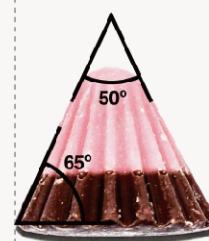
太陽神アポロンから名付けられた、  
人類初の月面着陸を果たした宇宙船、アポロ11号。  
その形は時を経て、同じ名前を冠したチョコレートになった。  
アポロの不思議な形、それは宇宙へ行くための形。

▼ 子どもの頃から見慣れたアポロを、今になって  
見つめ直すことで、実はそこに潜んでいた宇宙  
的な深みを発見する、全3回の実験企画。



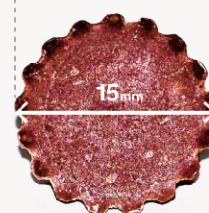
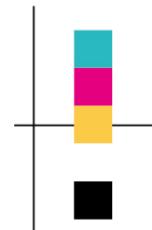
**Apollo has 17 thorns.**

アポロは17の棘を持っている。



**Apollo's gradients are 50 & 65 degrees.**

アポロの勾配は50度と65度。



**Apollo's diameter is 15mm.**

アポロの直径は15ミリ。

あやうさぎは、今日も  
月から地球を見ていた。

どうやら何か  
見つけた様子。

地球はお正月の  
季節のようです。

宇宙コミック

# 飛び出せ!! あやうさぎ

企画 / 佐藤美月  
企画・イラスト / 照屋明花

月に住む、モラトリアムアルバイト。

不安定で危い日々を生きる....

そんな彼の名は、あやうさぎ。

いつものように夜更かししているようです....

バイト疲れた...  
あと3連勤か.....ん

し、白いやつ...僕も食べたい...  
でもこんなのが食べたら死ぬよな



なあなあ  
地球の白いやつ知ってる?

ば先の友だち

絶対においしい!  
僕、食べたいんだよなあ



ん  
よく知らないけど  
なんかいい感じのはわかる  
でも月にどっかある...?



『WATER』 / Suchmos

▶ 静寂の中でまだ見ぬ文明に思いを馳せながら聴きたい。



9 「4分33秒」 / ジョン・ケージ

▶ 宇宙でこそ映える曲。もちろん生演奏で。

特集  
みんなの宇宙論

企画：水木陽菜 デザイン：高木凜  
取材：平石あすか／酒井啓成／上原子真衣

## Q. あなたの宇宙は なんですか？

自分が探究心をもっていることがら、通称「宇宙」。

「宇宙」は人によって様々で、学類や将来の夢に関係があるかもしれないし、あるいは趣味の延長線かもしれない。でも共通するのは、誰しもそれぞれの「宇宙」に特別な想いを抱いているということ。いつもの大学生活を共に送る彼らは、何に興味をもち、何に突き動かされているんだろう。何気なくすれ違う人の「宇宙」、覗いてみたくないですか？

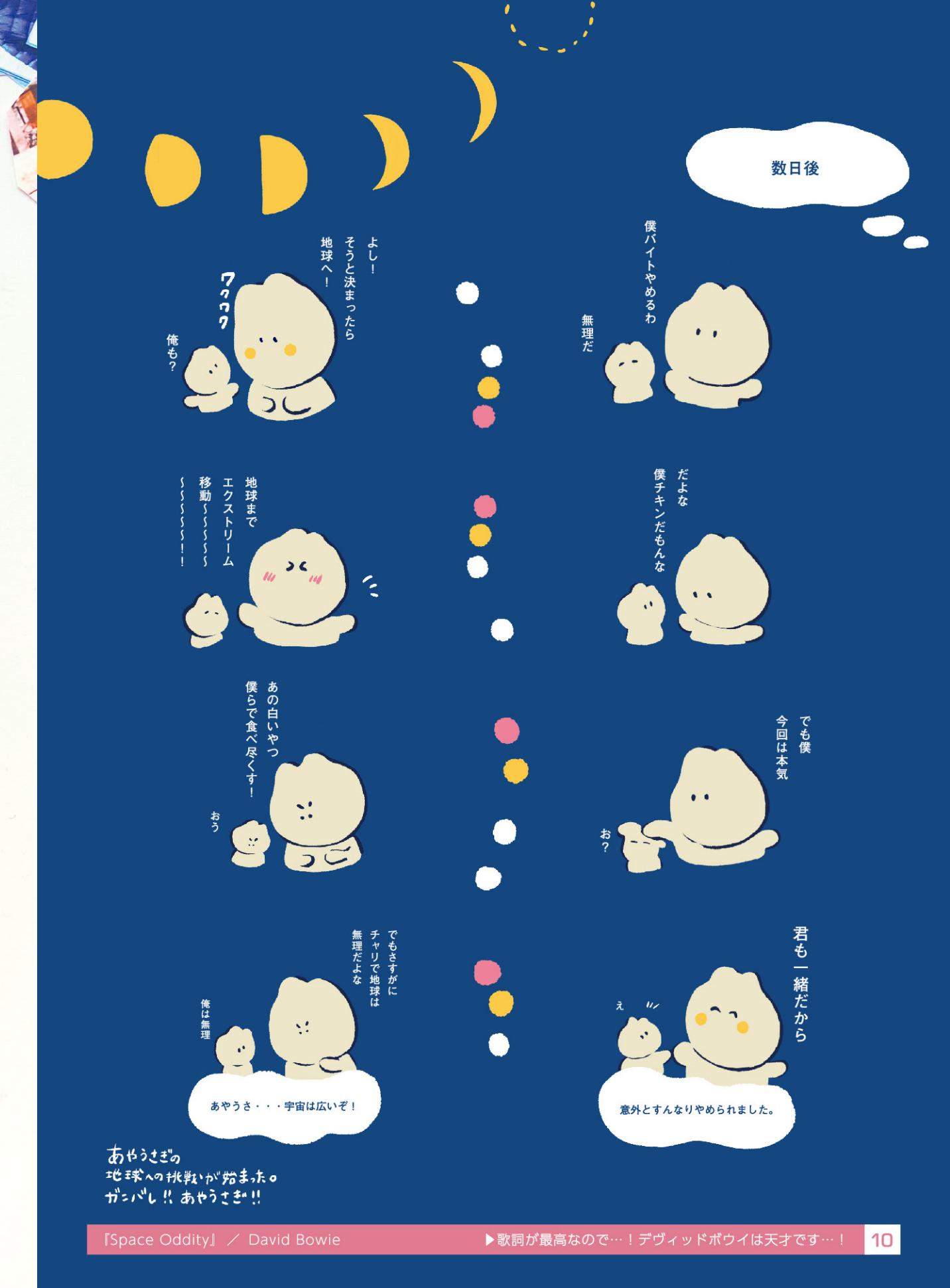
23学類と2学群から成るここ筑波大学。なんだか無限の宇宙が広がっている気がした私たちは、この広いキャンパスへ繰り出しました。「その人が宇宙だと感じること」＝「宇宙論」を知るために。みんなの様々な「宇宙論」は爆発する個性そのもの。そのひとつひとつが今まで知らなかった世界を知るきっかけを与えてくれます。

次のページからは、私たちが集めた宇宙論をご紹介。だけど、今回集まったのは煌めく「宇宙」のごく一部。辺りを見渡せば、ほら。隣のあいつも気になるあの子も、アタマに「宇宙」、浮かべているかも。

構成される多様  
がたくさんある。  
もはや宇宙。

▶月面で聴きたいと思ったから。

11 『SORATO』／サカナクション





は、た  
練され  
て

「人の心臓をブチ抜くのが生きがい！」  
共感の Pops と自己主張の Hip Hop を良い  
とこ取りした、自分らしい音楽を考える。



かるたのスタイルの理想と現実の狭間で  
今尚悩んでいる。辛くて一度離れることも  
あったけれど気付いたら戻ってきていた。



数十万の原子によって構成される多様  
な蛋白質には、未だ謎がたくさんある。  
小さい世界の無限は、もはや宇宙。



これまでに様々な国を旅してきた。現地  
で出会う人々の考え方、価値観の多様さ  
を、宇宙のように感じる。



雲をきっかけに気象学に興味を持った。  
その形を見れば風や水蒸気などの情報が  
わかる。雲はロマンなのだ。



アダプティビティへの興味は高校の  
時から。障害の有無に関わらず、万人が  
スポーツを楽しめるように、考える。



同じことを言うにも表現の幅が広すぎて  
どの日本語を使うか、日々戦いだ。目で  
見る、形としての日本語にこだわりたい。



声だけという無限の可能性にワクワクする。  
それぞれの個性が1つになって表現  
される音は、人との繋がりが生み出す。



かすれやにじみを駆使し、二次元の中での  
立体感を表現する芸術としての書道。  
限られた素材で表現する日本文化の美。



自分にとって本とは、読めば自然に知識  
が飛び込んでくる「知識の宇宙」。そんな  
本の魅力を伝える発信源になりたい。



生活の柱は大好きなアメフト。自分の挑  
戦を通して人を巻き込み、部から体育会、  
そして筑波大学を活気づけたい。



筑波大ラグビー部のマネージャーになり  
たくて入学。選手の自己管理だけでここまで  
強い国立大ラグビー部はありません。



社会で活かせる強みを増やし、自分の市  
場価値を高めたい。常に新しい環境に飛  
び込み、挑戦し続ける。



関東大学バスケットボール連盟の広報部  
として、大学スポーツを、好きなバスケ  
を、もっともっとメジャーに。



プロダクトデザインは「私の想像を形に  
するもの」。時間を忘れられるような、  
楽しんでもらえるおもちゃを作りたい。



他の観客やアーティストと一緒になる  
ライブが最高。音楽には、知っても知り  
尽くせない新しい世界がある。



実は筑波大学は楔形文字の研究レベルが  
日本一！3000年も昔の国に思いを馳せ、  
史料を読み、目指すは「歴史の再構成」。



白米には人を幸せにするエネルギーがある。勇気を持って太陽の下に飛び出し、世界中の人とご飯を食べて笑いたい。



アジアから南米、アフリカまで現地に根付く世界中の音楽の虜。日本にはない情熱的なエネルギーに惹かれる。



量より質の考え方でハンドボールの可能性が広がった。選手一人ひとりを考えながら、多角的にハンドボールと向き合う。



サイコロコレクター。サイコロの概念だけで多様に広がる。一面サイコロなど、こじつけのようなものすらも愛おしい。



博物館は人類の宝箱。世界中から収集された圧倒的な数の実物全てに重要な価値がある。展示に至るストーリーも魅力。



一度根を張ったら動けない植物には、たくましさがある。生きるために洗練された生物の仕組みを解き明かしたい。



「人の心共感のこと」



スケールの大きさに感嘆。約1億年の間、食物連鎖の頂点にいた恐竜がなぜ絶滅したのか。恐竜にあるのはカッコよさと、謎。



歩くだけでも色々な情報が入ってくる。自分と違う、地域の人々の視点を探し、土地性を紐解く民俗学が楽しい。



難民支援など国際問題に取り組む。自分の活動をきっかけに多くの人の共感、行動を生み、影響範囲を広げていきたい。



ある人には些細な段差でも、それを乗り越えるため、工夫する人たちがいる。そんな社会の段差のあり方を勉強中。



2歳で車種を全て言えたほどの車好き。車は工学、経済、デザイン、生物、あらゆる観点から語ることができる。



つくば観光大使としてつくばのステキなところを発信中。普通ではできない経験にワクワクする。何かを伝えるって面白い！



日本の技術をもとに、インフラが原因で教育の機会や夢が狭められている途上国の若者、新たな選択肢を増やしたい。



人の笑顔を見ると自分も幸せを感じる。フィリピンの大統領になって、できるだけ多くの人を笑顔にしたい。



初めて訪れる土地で、特有の食べ物、文化を肌で感じる。多趣味だから、どの旅先が一番良かったかなんて選べない。



意味は“飾らないこと”。誰もが持っている、他人には見せない弱さや苦悩と、ありのまま向き合える人になりたい。



産地や挽き方、淹れ方などで味や風味ががらっと変わる。それぞれの珈琲との相性を考える、フードペアリングも奥深い。



鉱物は地球の細胞。色や形、化学組成など、自然が生み出す多様な綺麗さに惹かれる。鉱物を求めて世界中を旅したい。



# 若者が造る 若者のための日本酒



日本酒

生物資源  
学類 内田 麟太郎

内田 麟太郎 Rintaro Uchida

生命環境学群 生物資源学類 3年生。

「食と酒 東北祭り」実行委員会として酒造現場を訪れ、日本酒の奥深い魅力と出会う。祭りの運営の傍ら、留学生向けの日本酒試飲会などを開催。



## 一本一本に ストーリーを込める

現在は、「二才の醸（かももし）」とい  
う銘柄の日本酒を、米作りから販売ま  
で20代の若者のみで作るプロジェクト  
に参加中の内田さん。「二才」は「若者」、  
「醸」は「酒を造る」という意味だ。若  
者が造る、若者のための日本酒を目指  
している。

「日本酒が誕生するまでには酒米農家や  
酒造、酒屋など様々な過程があり、多  
くの人々が関わっています。その全ての  
情報を瓶一本に込みて、お客様に届  
けたくて。例えば「二才の醸」だったら、  
20代が集まって田植えをして稻を刈つ  
て、その米を仕込んで、酒を造ったた  
ていうストーリーがある。それを大事  
にすることで、造り手一人一人に思  
入れが生まれて、一人一人が広告塔に

なって日本酒が広がっていくと思う  
です。」若者が強い思いを込めた日本酒  
だからこそ、若者が買う時に身近に感  
じてもらえる。買い手との距離を近づ  
けるためにも、過程のストーリーを大  
事にしたいという。

最後に、下火になつてている日本酒業  
界へ飛び込むことへの決意を聞いた。

「確かに日本酒の売り上げはピーク時の  
3分の1で、これから衰退は避けら  
れません。でも、日本酒はまだ死んで  
いません。普及への環境整備をする人は絶  
対に必要です。そういう人になつて、今まで認められなかつた日本酒の価値  
がないと、普及するときに語るに語れ  
ない。だから造った人が広めてこそ、み  
んなに飲んでもらえると思いました。」



内田さんが酒造りを行う  
古河市の青木酒造

「食と酒 東北祭り」  
の様子

## 日本酒に魅せられて

若者の日本酒離れが叫ばれる中、そ  
れにとことん魅せられた若者がいる。  
内田さんにとつての「宇宙」は日本酒。  
日本酒を愛するあまり、大学を休学し  
て酒蔵へ飛び込んだ。自分の手で日本  
酒を造りながら、現在は日本酒を広め  
るベンチャー企業でのインターンを行  
っている。「日本酒は変化に富んで  
いて、一本一本、味も香りも違いま  
す。職人の造り方や麹の些細な違  
いが、信じられない程の変化を  
生んで、どれも美味しい。  
そこに惹かれましたね。」

大学に入って日本酒に  
魅了されて以来、多く  
の人に飲んで欲しいと思  
うようになった。しかしそ  
の良さを理解する人は、周囲に  
多くはなかつたという。

「友人からは『日本酒なんて美味しいくな  
いじゃん』と言われることが多いです。  
実際日本酒を飲む若者は減つていて、  
業界は衰退しています。それがとても  
悔しくて。こんなに美味しいのに、若  
者が飲まないなんともつたない。そ  
れなら僕が広めよう、業界に飛び込  
みました。やっぱり自分が造つた経験  
がないと、普及するときに語るに語れ  
ない。だから造った人が広めてこそ、み  
んなに飲んでもらえると思いました。」

「友人からは『日本酒なんて美味しいくな  
いじゃん』と言われることが多いです。  
実際日本酒を飲む若者は減つていて、  
業界は衰退しています。それがとても  
悔しくて。こんなに美味しいのに、若  
者が飲まないなんともつたない。そ  
れなら僕が広めよう、業界に飛び込  
みました。やっぱり自分が造つた経験  
がないと、普及するときに語るに語れ  
ない。だから造つた人が広めてこそ、み  
んなに飲んでもらえると思いました。」

「日本酒が誕生するまでには酒米農家や  
酒造、酒屋など様々な過程があり、多  
くの人々が関わっています。その全ての  
情報を瓶一本に込みて、お客様に届  
けたくて。例えば「二才の醸」だったら、  
20代が集まって田植えをして稻を刈つ  
て、その米を仕込んで、酒を造つたた  
ていうストーリーがある。それを大事  
にすることで、造り手一人一人に思  
入れが生まれて、一人一人が広告塔に

なつて日本酒が広がっていくと思う  
です。」若者が強い思いを込めた日本酒  
だからこそ、若者が買う時に身近に感  
じてもらえる。買い手との距離を近づ  
けるためにも、過程のストーリーを大  
事にしたいという。

## 歴史を超えて愛される インドの戦物語



マハーバーラタ  
महाभारत  
人文学類 大井千聖

大井 千聖 Chisato Oi

人文・文化学群 人文学類 3年生。  
元々インド神話に興味があり、中学1年生の時に図書館で『マハーバーラタ』に出会う。  
長過ぎて読めるか、と思っていたが、昨年約1年かけて読破。



### インドの物語はなぜ面白い？

インド国内歴代興行収入1位である映画『バーフバリ王の凱旋』は2017年に日本でも一大ブームを起こした。その元となつた物語が、この「マハーバーラタ」である。遙か昔の戦物語、一体何が彼女を虜にしたのだろうか。

「マハーバーラタ」はインドにおいて、日本でいうところの『平家物語』とか、中国の『三国志』みたいなものです。現代の日本人で平家物語を読んでる人って全然いないと思

うし、あらすじ話してって言わ  
れても全然わからないと思うん

ですけど、「マハーバーラタ」は、インドで今でも親しまれている  
んです。前にインドでドラマ版  
が放送されて、その時の視聴率  
はなんと80%にもなりました。6、  
7世紀くらいにできた話が、いまだに  
インド国民の間でポピュラーって、す  
ぐないですか。」

世界的に見ても、ここまで愛され、  
ドラマや映画に展開されている叙事詩  
は少ない。「人気の理由はたぶん、単純  
に話として面白いからだと思います。  
昔の文学って「これの何が面白いんだ?」  
つてことがよくあると思うんですけど、  
これはちゃんと楽しい。次どうなるん  
だろうというワクワクする感覚がちや  
んとある。「現代ならこんなことしない

本にはサンスクリット語や「マハーバー  
ラタ」の研究者が非常に少ない。  
「本当にマニアックな世界にハマつ  
てしましました。良く言えば未開拓の世  
界ですけどね。」そう笑う大井さんはと  
ても頼もしく見えた。

彼女は今後「マハーバーラタ」と、  
どう関わっていくつもりなのだろう。  
「もっと読みやすい『マハーバーラタ』  
を出したいです。今出てる山際版、上  
村版を踏まえた、新しい訳本。強欲な  
んですけど、原典訳も出したいたし、ダ  
イジェスト版も出したいんですよ、研  
究者が読む用と一般の人に読んでもら  
う用に。二兎、追いますよ。」

原典はサンスクリット語。だが、日本にはサンスクリット語や「マハーバー  
ラタ」を待つばかりだ。

### 「完全翻訳版を書きたい」

ぜひ読んで欲しいと思うものの、「マ  
ハーバーラタ」を日本語で読もうとす  
ると、2つのバージョンのみだそう。  
「完結してる訳本は山際版(写真①)だ  
けれど、英語に訳したものさらには訳  
してるから、意訳って感じ。原典に忠  
実なものというと、上村版(写真②)し  
かない。ですが、訳して途中で上村  
さんが亡くなってしまって……。主人  
公と宿敵との大事な最終決戦の前で、  
話が切れてるんです。こんなに面白い  
のに完全な訳が出ていないのは悲しい  
です。」

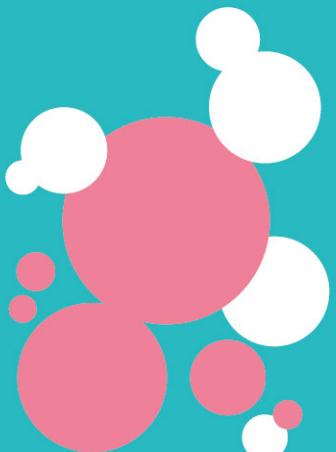
サンスクリット語で書かれた  
原典の『マハーバーラタ』



# つくらぶ

コインランドリーで出会う  
筑波大生の恋。

企画・デザイン / 岩永昇子



業務用洗濯機の蓋を開けると、ムワッと湿気が顔にまとわりついた。ついさっきまで客が使っていたのだろう。微かに誰かの洗剤の匂いがする気がした。

五月にもなれば、もう立派に気温は高い。新歓シーズンが幕を下ろし、夜になつても肌寒さを感じることは少なくなる。羽織るものもコートから薄手のバーカーに変え、授業を五限まで受けた。数週間前とはうつて変わつて静まりかえつた共用棟前を自転車で通り抜け、安アパートへ帰宅すると、七疊の部屋の隅、バスケットに溜まりに溜まつた洗濯物が目に入る。最後に洗濯機をまわしたのはいつだつたかと首をひねつた。この流れにデジヤヴを感じる。ということはちょうど一週間に同じような流れで、コインランドリーへと向かったのではないか。そんな気がする。ともかくうず高く積みあがつた洗濯物のタワーはいい加減無視できない。なによりもともと手持ちの服が少ない僕は、もう明日着る服がないのだ。そういうわけで重い腰を上げたのであった。

それにしても、次こそはと思っていたのに、結局また一週間洗濯物を溜めてしまつた。洗濯バスケットいっぱいに着用済みの衣類を入れて、アパートの向かいにあるコインランドリーへ足を運ぶのは、普通に恥ずかしい。徒歩一分の距離とはいえ、アパートとコインランドリーを隔てる道路を横断するとき、不格好な自分に向けられる視線が気になるのだ。そうは言つても仕方がないことなので、足元だけクロックスにはき替えて、洗濯をするため足を急がせた。

粉洗剤を槽内に撒いて、ギギ、と入り口の引き戸が開く音がしたので、反射でそちらに目を向けた。  
どうせおっさんかオバサンだろうと油断していた。めちゃくちゃマヌケな顔でドアの方を振り返った自覚がある。ジャージとかじやなくてよかつたなど心底思つた。

入つて来たのは(おそらく)女子大生だった。

「よく来るんですか?」  
恥ずかしさからくる内心の動揺を抑えつつ、無心で手近な洗濯機に洋服を突っ込んでいると、女子大生から話しかけられた。そのまま彼女は一つ挟んだ洗濯機に洗濯物の入つたネットを入れ出す。



「そうですね。家に洗濯機、ないんで……」

「こういうとき、何と返すのが正解なんだろう。横目で隣をうかがうと、彼女は微妙な表情を浮かべていた。僕としては、語尾に割と『笑』がつきそうな調子で返事したつもりだったのだが。コインランドリー全体が無音になってしまった。

洗剤とコインを入れてスイッチを押すと、ゴウンゴウンと音を出しながら洗濯機は稼働し始める。あつという間に手持ち無沙汰になってしまい、僕は入り口からちょうど正面の壁沿いに置かれた青いベンチに腰掛けた。するとしばらくして女子大生も隣に座った。

「私、洗濯機が壊れちゃって。先輩からもらったやつだったから、ガタが来てたのかも。新しいの買うまで、ここ使っててるってカンジです。アパートから近いから」

彼女はコインランドリーに来た理由をそう語った。目が合ってはじめて彼女の顔を正面から見た。目が大きくて、でも他のバーツの主張は控えめな、美少女顔。黒髪が肩までかかっていて、清楚な雰囲気を醸している。彼女の話に相槌を打ち、僕もさつきできなかつた自分の話の続きをした。

「引つ越すとき、先輩から譲り受けるはずだつたんですけど、いろいろトラブルやってうやむやにされて。そつから自分で買うのもめんどくて、結局コインランドリーも近いし、つってここにしようちゅう来てるんです」

まあ、実際のところはしようちゅう、というのは微妙に嘘なのだが。少なくとも隣の彼女より洗濯していない自信がある。さっき入れていた洗濯物も少なかつたし。

「しようちゅう、って割にはすごい量洗つてましたよね」

「彼女がいたずらっぽく笑う。……ばれていた。

「生物？ ジャあ理系なんだ」

そうこう話しているうちに彼女と僕は同期であることが分かつて、所属している学類や学問の話になつた。彼女は、やはり実際女子大生だったのである。自然に口調もお互い砕けた。

「そー。で、もう三年だし、就活のこと考えなくちゃなつて……」

「院進はしないの？」

「少しさは考えたけど、私は研究できるタイプじゃないって二年間で思つた。追求欲がないの。人に乗つかるのは得意なんだけど、自分では全然何がしたいとか、

僕らはまた――、出会えるのだろうか？」

思わずドキリとしまつた。

翌朝。寝坊した僕は朝ご飯にトーストを食べるのを諦め、昨日のまま一切出し入れをしていないリュックサックを背負い、スニーカーをつっかけて勢いよくドアを開いて外に出た。すると隣の部屋も同じタイミングでドアが開く。パッと目が合つた。「…………えと、」

お互いの目に映っているのは昨日、コインランドリーで見た顔。おそらく僕は二日続けてマヌケな顔を晒している。

続いて口から出てきた言葉は二人とも同じだった。

思いつかない

理系にとつて院進は、文系に比べればはるかに現実的な話だろう。ひょとすると皮肉な話なのかもしれない。僕なんかはむしろ研究をしたくてたまらないが、人文系で院に進んで就職先があるのでどうか(いや、ない)。そんな話をすると彼女は考えるそぶりをしたのち、鞄の中を探つて、何やら差し出してきた。

「彼女の手のひらには、チョコレートが数粒乗つていた。ピンクと茶色のコントラストが特徴的な三角錐型のチョコ菓子だ。遠足の定番だったの小学生まではよく食べたものだが、最近ご無沙汰だった。「もうう」と返事して、一粒口にした。

彼女の手のひらには、チョコレートが数粒乗つていた。ピンクと茶色のコントラストが特徴的な三角錐型のチョコ菓子だ。遠足の定番だったの小学生まではよく食べたものだが、最近ご無沙汰だった。「もうう」と返事して、一粒口にした。

「ジッサイ、後先考えずにこれがやりたい、みたいな衝動がある人はいるよね」

君みたいに、と彼女は笑つた。さつき、研究していることについてつい熱がこもつてしまつたことをからかわれているのだと、すぐに気がついた。でも現代史は面白いのだから仕方がない。政治的なデリケートさを他の時代よりはらんでもらか敬遠されがちだけど、そういうところも含めて僕は好きだ。思わずムツとして言い返してしまつた。

「歴史は遠い昔に起つたことだけじゃないよ」

「それ、さつきも言つてた！」

「……後先考へてるのはさ、メチャクチャえらいと僕は思うけどな」

「そうだね。たまに夢がある人がうらやましくなつちゃうけど、わかつてはいるつもり」

「じゃあね、また」

「手早く洗濯物をまとめ、ニコリと微笑んで彼女はドアへと向かつた。

いつたいどんな気持ちでこの人は「また」なんて言うんだろう。その気安さに、せっかくなのでもう少し話します。昨年夏ドイツに遊びに語学研修を行つたのですが、滞在させてもらった学生寮の洗濯機がクレカでしか払えなくて、住人待ち伏せしては洗濯しに来た人にヘッタクソな英語とドイツ語で事情を説明し、2ユーロと引き換えにカードを使わせてもらつた。日本と違つて湿度が低いのでメチャ早く洗濯物が乾くしカッピカビになります。現地で購入した洗剤は、ルームメイトのグラマーなお姉さんにスーパーですごい勢いでオススメされたやつでした。でもコ●トコの洗剤ジュースくらいのサイズがあつたので当然使いきれず、そのままドイツ留学するという同期の友人にあげちゃいました。

なにはともあれ、ここまで描い文章を読んでくださって、ありがとうございました！

## あとがき

トリの企画なので他の企画の要素を入れたら面白いんじゃないかと思ひ、それぞれの「宇宙」を詰め込んでみたつもりです。

手帳をめくってたら設定が出てきました。

■僕 (20) 大学 3 年生。人文学類。現代ドイツ史に興味があって専攻にした。ズボラなので洗濯物を溜めがち。洗濯機を所有しておらず、アパートから徒歩 1 分のコインランドリーを利用している。冴えない大学生。粉のニュ●ビーズを使用。

■彼女 (21) 大学 3 年生。生物学類。4 月生まれ。洗濯機が壊れてしまったので最寄りのコインランドリーに来た。院進は考えるには考えたけれど、向いてないなと思ってさっさと就職を決断。たぶんあっさり 2 つ 3 つ内定を勝ち取っていくタイプだと思う。液体洗剤派。

……思った以上にしょうもなかった。あとこの物語はフィ

クションだし、特定の誰かや学類についてどうこう言うものではないと断っておきますね。

せっかくなのでもう少し話します。昨年夏ドイツに遊びに語学研修を行つたのですが、滞在させてもらった学生寮の洗濯機がクレカでしか払えなくて、住人待ち伏せしては洗濯しに来た人にヘッタクソな英語とドイツ語で事情を説明し、2ユーロと引き換えにカードを使わせてもらつた。日本と違つて湿度が低いのでメチャ早く洗濯物が乾くしカッピカビになります。現地で購入した洗剤は、ルームメイトのグラマーなお姉さんにスーパーですごい勢いでオススメされたやつでした。でもコ●トコの洗剤ジュースくらいのサイズがあつたので当然使いきれず、そのままドイツ留学するという同期の友人にあげちゃいました。

なにはともあれ、ここまで描い文章を読んでくださって、ありがとうございました！

▼子どもの頃から見慣れたアポロを、今になつて  
見つめ直すことで、実はそこに潜んでいた宇宙  
的な深みを発見する、全3回の実験企画。

### Apollo Graphics ③

#### アポロの飛行

ある休日、  
コインランドリーへ行こうと歩いていた僕は、目撃した。  
空へと飛び立つアイツを。



## ツクマガ vol.17 編集部

編集部に  
とっての  
宇宙とは?



### ツクマガへの感想をお待ちしております!

学生団体C<sup>4</sup>ではツクマガをより良いものにしていくために、  
ツクマガへの感想をお待ちしております。この企画が面白かった  
次はこんな企画をやってほしい、など何でも構いません！

E-mail : [info@tsukunavi.com](mailto:info@tsukunavi.com)

#ツクマガ17をつけてのツイート

をよろしくお願ひします！

### What's C<sup>4</sup>?

学生団体C<sup>4</sup>は筑波大生を中心に構成された団体です。  
フリーペーパー「ツクマガ」の発行、WEBサイト「ツクナビ」  
の運営を通して、学生をターゲットに新たな発見を得てもらう  
ことをコンセプトに情報発信をしています。

**C4**

Office : TEL 305-0821  
茨城県つくば市春日 2-35-2 エトワール春日 106  
E-mail : [info@tsukunavi.com](mailto:info@tsukunavi.com)  
Twitter : @C4\_office  
Facebook : [www.facebook.com/c4office](http://www.facebook.com/c4office)

### Special Thanks

筑波大学の学生のみなさん  
つくば市のみなさん

### 校正補助

後藤美菜 / 小形麻依 / 會田勇斗

発行日 : 2019年4月1日

発行 : 学生団体C<sup>4</sup>

発行人 / 編集長 : 水木陽菜

印刷 / 製本 : 株式会社グラフィック  
©2019 学生団体C<sup>4</sup> 禁無断転載

Printed in Japan

### お問い合わせ

E-mail : [info@tsukunavi.com](mailto:info@tsukunavi.com)

\*この雑誌に記載されている情報は  
2019年4月1日現在のものです。

Designed by Mizuki Sato

### 編集後記

なぜだろう。  
小さい頃からずっと宇宙に惹かれていた。  
田んぼ道の真ん中で空を見上げると、私が  
中心の天球には、たくさんの星が散りばめ  
られていて、瞬きすら忘れるほどだった。  
よく宇宙の始まりを想った。宇宙ができる  
前ってどんなだろう。時間も空間もなくて、  
暗いとも無とも言えない、言語化不可能な  
得体の知れない世界。考え始めると終わ  
りがなくて、正解がない、自分の存在すら  
危うくなってしまいそう。

考えるだけでわくわくする。ただひたすら  
に探究したくなる。この、どうしようもな  
く追い求めたい愛を何と表現しようと苦し  
むのですが、これはきっと「宇宙」なのだ  
と行きつきました。

目の前にある好きなことを追い続けること。  
いつかそれが大発見につながるかもしれない  
し、いつか誰かをときめかせることができ  
きるかもしれない。  
私の好きなことってなんだっけ。私の強みつ  
てなんだっけ。私の宇宙って、何だっけ。  
あつという間に終わってしまう大学生活に、  
刺激を与えるツクマガでありたい。

編集長 / 水木陽菜



**スタッフ募集！**  
学生団体C<sup>4</sup>では、随時新規  
スタッフを募集しています。  
WEBサイトの運営やフリー  
ペーパーの編集、文章やデザ  
イン、写真、イラストに興味の  
ある方、どのような方でも大  
歓迎です！お気軽にお問い合わせ  
先までご連絡ください。



OUR SWEET JOURNEY GOES ON

17 ז' קמבר